

# 公園で涼を 感じてみませんか！

暑い日が続いていますが、いかがお過ごしですか？ 冷房の効いた家の中は快適ですが、冷えすぎるのは健康によくありません。屋外で自然が作り出す涼しさを、楽しんでみませんか!? ここでは市内にある、水に親しむことができる公園をご紹介します。

\*天候には十分に注意して、お楽しみください。



伊佐沼公園

## 伊佐沼公園 (伊佐沼)

園内の水遊び場では、多くの子どもたちが水遊びをしています。水深は浅く、小さな滝もあり、大人気。親子でいっしょに水に親しむことができます。木陰が多く夏場でも過ごしやすくなっています。

## 仙波河岸史跡公園 (仙波町四丁目)

駐車場側の入り口近くの小さな沢で、子どもたちが楽しげに遊んでいました。園内には、遊



仙波河岸史跡公園

歩道や水辺の上を歩くことができます。また、仙波河岸跡として、新河岸川舟運の面影を伝えている、歴史

## 灌紫公園 (喜多町)

公園となっています。入り口のある階段を下ると、すぐそこは新河岸川。あずま



灌紫公園

やで、川の流れの音や暑さに負けずに遊具で遊ぶ子どもたちの歓声を聴きながら、ひとときを過ごしてはいかがですか。

## 安比奈親水公園 (安比奈新田)

入間川の河川敷を利用した、約十八ヘクタールの広さがある公園です。園内には、橋の上から魚などを観察することができます。水路やグラウンド・広場・野草園などがあります。川や木陰などで涼みながら、家族で過ごすのに最適な公園です。

## 初雁公園 (郭町二丁目)

初雁公園のプールは、涼を求め、多くの皆さんでにぎわっています。四種類のプールがあり、大人二百円・高校生百円・小学生五十円で、二時間楽しむことができます。同公園は、旧川越城本丸跡にあり、本丸御殿やナイター設備の整った野球場があります。

## 川越水上公園 (池辺)

ウォーター 슬라이ダーや流れるプールが人気の同公園。また、プール以外にも、緑に囲まれた修景池・複合遊具のある広々とした自由広場・河川敷に残る自然を生かした散策路などが楽しめます。



## 夢を追いかけた夏！



応援に力が入ります

春の県大会を制した、市立川越高校野球部。夏の大会では、19年ぶりの甲子園出場を狙いました。第1シードで臨んだ今回の大会は朝霞高校戦、城西川越高校戦に勝利しました。立教新座高校との対戦は、0対1で惜しくも敗退。「みんな、よく頑張ってくれました。夢をありがとう」と、新井清司監督。3年生の思いを引き継ぎ、翌日から2年生を中心とした新体制で、甲子園を目指して練習を再開しました。新たな野球部の出発です。



対城西川越高校戦でランニングホームランを打った遠藤選手



暗くなってから、境内で行われた獅子舞

## 縦笛で伝統を承継

7月19日・20日に赤城神社（福田）で市指定無形民俗文化財「福田の獅子舞」が行われました。この獅子舞の笛は、縦笛が中心です。地域では横笛を吹ける方が少なくなってしまうため、小学生が吹くことができる縦笛を使うようになりました。地域の子どもたちは、小学4年生から祭りの曲の練習を始め、伝統を受け継いでいきます。



村回りで縦笛を吹く小学生

## 将来の川越の姿は？

川越の将来の姿を柔軟な発想で考える「まちかど講評会」が、7月20日・21日に旧鶴川座（連雀町）で開催されました。東洋大学工学部の皆さんが、「旧山崎家別邸」（松江町2丁目）とその周辺地域を活用した、新たな交流の場となる「まちなか交流館」の設計提案を行いました。会場には、約170点の中から優秀な作品が23点並べられました。訪れた皆さんは、新しい感覚の詰まった模型などの作品を見ながら、説明を熱心に聴いていました。



作品の説明を聴く、来場した皆さん



左上から、楠川直子さん・木戸靖子さん  
山戸かほるさん・橋本さん・三浦高子さん

な違いを出すことが難しく、また、自分の感情を入れすぎずに音訳することが大切です。「これからも、人のぬくもりのある情報を、伝えていきたいと思えます」といねいに話す、代表を務める橋本美恵子さん（63歳・むさし野）。

現在、登録している音訳者は、五十二人います。活動は、視覚障害者が個人で利用するための、本のテープ吹き込みや対面朗読が主な活動です。音訳は文字と違って、同音異義語などことばの微妙な違いを出すことが難しく、また、自分の感情を入れすぎずに音訳することが大切です。「これからも、人のぬくもりのある情報を、伝えていきたいと思えます」といねいに話す、代表を務める橋本美恵子さん（63歳・むさし野）。

市立図書館音訳者第一期生  
昭和五十八年に市主催の朗読講習会に参加したことをきっかけに音訳を始め、現在も活動を続けている五人の皆さん。当初、子どもにも上手に読み聞かせをしたいと思います、講習会に参加した方が多かったそうです。しかし、講習会の終了時には、身に付けた技術をみんなのために役立てられないかと思うようになりました。

